



2024年9月24日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 桑野 隆司
(コード番号：7066 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役管理部部长 栗田 智代
(TEL. 03-6811-2211)

連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年9月24日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社マックスプロデュース（以下、マックスプロデュース）の株式を譲渡することを決議しました。それにより、2024年9月期の連結決算及び単体決算において、特別利益（関連会社株式売却益）を計上する必要が生じました。

これらの内容及び最近の業績の動向等を踏まえ、2023年11月13日に公表した2024年9月期通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、本件株式譲渡に伴い、マックスプロデュースは当社の連結子会社より除外されることとなります。

記

1. 株式譲渡の理由

当社グループでは、これまで展開してきたセールスプロモーション事業、オンライン接客を中心とした店舗 DX 事業で培った販売現場における研修や人員育成ノウハウを活かした新しい事業領域として「AI ボーディング事業」を立上げ、次の成長領域とすべく注力しております。

今般株式譲渡をするマックスプロデュースは、2022年5月30日にコロナ禍にて新規事業参入を試みていたメタバース空間における V-Tuber 等を活用したライブエンターテイメント事業（興行事業）において、クリエイティブや企画制作力を強化することを目的に株式取得をし、完全子会社化いたしました。しかしながら、ライブエンターテイメント事業においては、事業拡大を試みたものの当社グループとして十分なリソースを確保することができなかったことから、想定した業績を実現することができず、2024年3月には展開していた V-Tuber 事業からも撤退を決定し事業整理をいたしました。

このような中、マックスプロデュースに関しては、株式取得時の目的実現ができなくなったこと、当社グループにおける事業ポートフォリオを見直したことで選択と集中をする事業領域が明確になったこと、経済合理性のある条件での株式譲渡が見込めたこと、マックスプロデュースの今後の成長を牽引できる株主候補が見つかったことから、株式譲渡をすることといたしました。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社マックスプロデュース			
(2) 所 在 地	東京都渋谷区代々木二丁目 22 番 1 号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 桑原 裕文			
(4) 事 業 内 容	インナーイベントを主とした各種イベント制作・プロデュース、映像製作			
(5) 資 本 金	10 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	2012 年 1 月 26 日			
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社が議決権の 100%を保有している連結子会社です。		
	人的関係	当社取締役が当該会社の取締役を兼任しております。		
	取引関係	当社は、当該会社に対し、資金の貸し付けや管理に関わる役務提供を行っております。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2021 年 9 月期	2022 年 9 月期	2023 年 9 月期
	純 資 産	△14 百万円	△48 百万円	54 百万円
	総 資 産	137 百万円	121 百万円	316 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	△246,371 円	△811,445 円	904,800 円
	売 上 高	406 百万円	470 百万円	1,124 百万円
	営 業 利 益	△30 百万円	△40 百万円	106 百万円
	経 常 利 益	△32 百万円	△40 百万円	106 百万円
	当 期 純 利 益	△32 百万円	△33 百万円	102 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△537,277 円	△565,074 円	1,716,245 円
	1 株 当 たり 配 当 金	0 円	0 円	0 円

3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 氏 名	株式会社フロンティアインターナショナル		
(2) 住 所	東京都渋谷区渋谷三丁目 3 番 5 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 河村 康宏		
(4) 事 業 内 容	プロモーションの企画・制作・運営		
(5) 資 本 金	51 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	1990 年 6 月 19 日		
(7) 純 資 産	6,190 百万円		
(8) 総 資 産	8,436 百万円		
(9) 大株主及び持株比率 (2024 年 4 月 30 日現在) (自己株式を除く)	河村 康宏	53.63%	
	渡邊 伸一郎	7.56%	
	古井 貴	7.56%	
(10) 上場会社と当該会社	資 本 関 係	該当事項はありません。	

との間の関係	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	60株（議決権の所有割合：100%）
(2) 譲渡株式数	60株（議決権の所有割合：100%）
(3) 譲渡価額	400,000,020円
(4) 異動後の所有株式数	0株（議決権の所有割合：0%）

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年9月24日
(2) 契約締結日	2024年9月24日
(3) 株式譲渡実行日	2024年9月30日

6. 特別利益の計上について

本件の株式譲渡に伴い、2024年9月期の連結決算において、現時点の見込として関係会社株式売却益約229百万円が特別利益、個別決算において、関係会社株式売却益約372百万円が特別利益に計上される予定です。

7. 業績予想の修正について

(1) 2024年9月期通期 連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	6,600	624	500	470	470	51.17
今回修正予想（B）	6,100	580	440	430	585	61.23
増減額（B－A）	△500	△44	△60	△40	115	
増減率（%）	△7.6	△7.1	△12.0	△8.5	24.5	
（ご参考）前期実績 （2023年9月期）	5,627	571	426	407	319	34.75

(2) 修正の理由

売上高においては、当初成長を見込んでいたライブエンターテイメント事業、コロナ禍に開始したリモートワークボックス事業の2つの事業において計画をしていた業績を実現することができなかったことから約500百万円の業績予想の修正といたしました。営業利益においては、売上高と同様の理由から約60百万円の業績予想の修正といたしました。経常利益においては、売上高と同様の理由に加え、財務体質の改善を実施したことで借入金に対する金利負担額が当初計画を下回り、結果として約40百万円の業績予想の修正といたしました。親会社株主に帰属する当期純利益においては、本件株式譲渡により発生した特別利益を計上するものの、前述の2つの事業を含めた事業整理に関わる損失に加え、本店移転に伴って発生した費用の一部を特別損失に計上す

ることから、約 115 百万円の業績予想の修正といたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上